

1. 授業のねらい・概要

この授業では、上武大学がある群馬県の自然環境について学ぶ。群馬県は、総面積の約3分の2を山地・丘陵が占める内陸県である。赤城山・榛名山・浅間山などの火山をはじめ、多くの山々がそびえ、山間を縫う利根川水系の溪流とともに、変化に富んだ美しい景観をつくっている。そして、全国的に有名な尾瀬や県内各地に湧出する温泉には、毎年多くの人々が訪れている。一方、群馬県は‘からっ風’や雷など、厳しい気象現象が発生する土地でもあり、上州ならではの風土が独特の県民性を生んだものになっているとも言われている。

群馬県の大学で4年間を過ごす学生諸君にとって、群馬県の自然について学ぶ意味は大きい。県内出身者は、この授業であらためて知ることであろう。また、県外出身者にとっては、出身県（出身国）との相違点や共通点に興味を引かれることも多いのではないだろうか。群馬県の自然について知るだけでなく、人間の活動を支え、時には脅威となる地域の自然に関心を持ってもらうこともこの授業の目的である。さらには、この受講を契機に、ふるさとの自然を新たな視点で見直し、旅先などでふれる自然と比べながら、日本の自然環境の多様性を見出せるようになれば幸いである。

2. 授業の進め方

講義形式を基本とするが、県内各地の自然写真の映写や標本の回覧により、現地観察が体験的にできるようにする。また、本学は県内の地形が一望できる好位置に立地しているので、遠望の利く晴天時には、屋外での地形観察を実施する。その他、随時机上の図面作業も行う。

3. 授業計画

1. 日本列島と群馬県 ー多様な群馬の自然環境ー	9. 群馬の生物② ー生物多様性の保全ー
2. 群馬の地形① ー利根川水系, 山地・丘陵・平野ー	10. 県土の生い立ち① ー大陸の時代ー
3. 群馬の地形② ー大学からの展望ー (実施日変更あり)	11. 県土の生い立ち② ー列島ができた頃ー
4. 群馬の地質① ー県土をつくる岩石・地層ー	12. 県土の生い立ち③ ー群馬に海があった頃ー
5. 群馬の地質② ー火山と火山活動, 温泉ー	13. 県土の生い立ち④ ー氷河時代ー
6. 群馬の気候① ー四季の気候, 地域の気候ー	14. 群馬の自然災害と環境問題
7. 群馬の気候② ーからっ風と雷ー	15. 群馬の自然保護 ー尾瀬の自然保護活動ほかー
8. 群馬の生物① ー主な動物と植物ー	

4. 到達目標

群馬県の大学で学ぶ学生として、県内の自然の特徴について一通りの知識を持ち、群馬の歴史や文化・産業などとともに、他県の人に群馬県の総合的な紹介ができる力を身に付けることを到達目標とする。また、人と自然が共存し、豊かな日本の自然が未来の世代に継承されることの大切さを、この授業を通じて理解してもらうことも希望している。

5. 準備学修に必要な時間、またはそれに準じる程度の具体的な学修内容

群馬県の自然に関する情報を、書籍・雑誌・テレビ・新聞などから収集することを勧める。また、天気の良い休日を利用して、近郊のウォーキングやハイキングなどに出かけ、直接自然に触れて観察できる機会を持つようにするとよい。

6. 成績評価の方法・基準

成績は、①試験得点、②提出物評価、③受講態度をもとに評価し、A～C評価の受講生に単位を認定する。試験得点が基準値以下の場合、提出物評価が著しく低い場合、授業・試験の規則・マナーが守れない場合にはD評価となり、単位は認定されない。

7. テキスト・参考文献

テキストは特に指定しない。

8. 受講上の留意事項

授業中には、ノートを取りながら理解するように努め、課題に対して積極的に取り組むことが必要である。